サービス名・機能名 ニコカレ!

① なぜお客様は喜んでくれる?

課題

PROBLEM

チーム課題として、「生産性が上がらない」「タスク割り振りに支障がある」「意見交流がない」などがある。これはコミュニケーション不足によるところが大きく、「チームメンバーがお互いの状況を把握していない」「お互いに興味関心が薄い」と言った文化的な面からのアプローチが必要である。これらの課題を解決し、チームの心理的安全性を高めていくためのツールとしてニコカレ!を開発する。

既存の代替品 EXISTING ALTERNATIVES

・Redmineプラグイン「ニコカレ」

④ 具体的に何を提供する?

ソリューション SOLUTION

- □ことにキモチを登録する機能
- --言メッセージを登録する機能
- カレンダーで確認する機能・心理テスト*1でキモチを選ぶ機能
- ・管理者向けのコンパネ機能
- •Slackからキモチを登録できる機能
- ・SlackのEmojiを利用する機能 ・SlackのStatusと連携する機能
- *1:正直に登録できないユーザーを想定

⑧ 喜んだことをどうやって知る?

主要指標 KEY METRICS

- 1. アクティブユーザー
- キモチを登録しているか
- 一言メッセージの利用頻度
- ・キモチにムラがあるか
- 2. ユーザーの反応
- ユーザーインタビュー実施
- -Slackの発言・会話の頻度
- チームとしての改善具合など

③ なぜお客様は我々から買いたくなる?

独自の価値提案

UNIQUE VALUE PROPOSITION

自分のキモチをメンバーが知ることによってコミュニケーションが生まれる。今自分がほしい リアクション、相手が求めているリアクションが 自ずと見えてくるようになる。お互いのことを自然と把握するようになり、アプリの枠を超え仕事を進められるようになり、その過程で心理的安全性が高まり、結果一体感のあるチームが形成される。

わかりやすいコンセプト HIGH-LEVEL CONCEPT

キモチをカタチにしてみませんか? あの人のキモチが分かったら。 あの人にキモチを分かってもらえたら。 きっと、もっと、チームになれる。 はじめよう、コミュニケーション。

⑨ なぜ我々は喜ばせることができる?

圧倒的な優位性 UNFAIR ADVANTAGE

アプリ内でアクションを完結させず、リアルなコミュニケーションにつなげていく部分が競合と比較して優位である。アプリを利用することでチームの文化を形成していくという切り口からアプローチしていく。

⑤ どうやってコミュニケーションする?

チャネル CHANNELS

SNS

・友人や知人・ムーチーム

② 誰に喜んでほしい?

順客セグメント CUSTOMER SEGMENTS

・もっとチームをよくしたいエンジニア

ターゲット(ペルソナ)について

ターゲットは31歳 男性の山田 宏一さん。一人暮らしで現在独身。エンジニア。好きな食べ物は唐揚げとビールで、休日は Amazon Primeで洋ドラを見るのが趣味。飲食店向けの「OSアプリ開発チームに所属している。先月の人事異動によりチームのサブリーダーに昇格した。チームメンバーは内向的な人が多く、効果的なコミュニケーションが行えていないと思っている。友人からのすすめで Facebookを始めたが、現在は見る専門になっている。社内コミュニケーションツールは Slackを使っているが、事務的な連絡ばかりで堅苦しいと感じている。他者とのコミュニケーションには LINEを使っている。その他賭々は Googleのアプリを使っている。最近 Amazon Primeを契約した。

⑦ コストはどれぐらいかかる?

コスト構造 COST STRUCTURE

開発にかかるコスト

- -開発 O円(0円×1人)
- ・パックエンド 1人
- ・フロントエンド 1人
- -インフラ 13,360円/年(ドメイン管理費:1,600円 マネクラ利用料:980円/月)

⑥ 結果として我々には何がもたらされる?

収入の流れ REVENUE STREAMS

・クラウドファウンディング 150,000円

・投銭でマネタイズ 12,000円(1,000円/月) ・サブスクリプション 48.000円(200円×20人/月)